



会長の時間

皆さんこんにちは
ご存知のように今日は沖縄が返還された日です。1972年の事でした。当時日本への返還に際し、政府は返還協定第7条に基づき「特別支出金」として総額3億2000万ドルをアメリカ政府に支払いました。琉球水道公社や琉球電力公社、琉球開発金融公社のほか、那覇空港施設や琉球政府庁舎あるいは航空保安施設、航路標識などのアメリカ軍政下で設置された民生用資産の引き継ぎ代金1億7500万ドルが含まれていたということです。沖縄復帰後日本政府は、振興計画を10年ごとに策定し40年間で約10兆円を投じ、「本土並み」を目標に、社会資本整備を行い本土との格差は縮小しました。その反面、基地収入、公共工事、観光の「3K」に依存する経済構造となり製造業が育たなかったようです。今後「第2滑走路」ができれば、沖縄の製品の販路が世界に広がり、3K依存の時代は終わり、本土の企業に活用してもらえば、日本経済全体の発展にも貢献できるのではないかと期待をかけているようです。日本全体で少子高齢化進む中、沖縄は人口が増え若者が占める割合も高く活気があるものの、一方で完全失業率は高く、1人当たりの県民所得は全国でもまだ低い水準にあり、真の自立に向け沖縄の潜在力を引き出す事ができるかが課題のようです。

キャノン、デジカメ生産を無人化という記事がありました。キャノンは人手を使わずロボットだけで部品を組み立て、デジタルカメラをつくる完全自動化ラインを構築し、2015年をめどに大分など国内2工場の一部で稼働するとのこと。円高を背景に国内製造業は、人件費の安い海外に生産拠点を移してきました。組み立て工程の自動化を進めてきたキャノンは、高い精度が要求されるデジカメで世界初となる生産無人化に挑みます。コスト競争力を高め、もの作りと研究開発の基盤を日本に残すこととなります。だんだん人の温もりを感じる事ができなくなりつつありますね。

会員卓話

=ロータリーの友活用=

於保会員

*** 老後は忙しいのが長生き P17**

高齢化社会から超高齢化社会へと移行していく現在、超高齢である100歳以上の割合は年々増加傾向にあり、2010年以降、四万人を超えました。現在活躍されている超高齢者は、日本の財界をリードした、錚々

たるメンバーです。こうした長寿経営者の健康法は、経営学、企業長寿学の要素と共通する部分が多く、不況にあえぐ経営者にとって大いに教訓となるものです。さて、仕事はあらゆる人にとって、日常生活における時間の大半を占めるものであり、そのための業務上のストレスは、健康に大きく影響を及ぼすと以前から言われてきました。仕事で神経をすり減らすより、田舎でのんびりした老後を送った方が長生きできるという考えの人は多いと思います。しかし、定年後も何らかの仕事を続けて、ある程度社会的な評価を得続けている人は、平均で五年以上長生きしていることがわかってきました。仕事上での喜びや満足、達成感や成功が、長生きをもたらすからだと思うのです。仕事に限らず、定年後に資格や賞をとるために努力を続けた人は、長寿を全うするのです。100歳長寿者は、若いときに困難と直面しても、それを克服し成功した人が多いようです。また、「社会とのつながり」も大きな要素であり、知人、友人が多く、定期的に直接会い、話をする相手がたくさんいる人ほど、つまり社交ネットワークが広い人ほど、長生きできるようです。健康で長生きするための最も簡単な投資は、地域で社交の輪を広げる**(新しい友をつくる=ロータリークラブに入る)**ことなのかもしれません。

お知らせ

6月03日(日) / 県下一斉美化活動

集合=8:50 水ものがたり館北側②

軍手、雨具をご準備下さい。

ロータリーベストをお持ちの方は
ご着用ください。

6月28日(木) / 新旧交替会

炭火焼 丸美屋

2012~2013年度予定

7月10日 / 第1・第26合同例会 (18:30~)

ホスト: 佐賀大和RC

7月17日 / クラブ協議会 (12:30~)

(倉永ガバナー補佐訪問)

活動計画発表 (各委員長)

7月24日 / 福元ガバナー公式訪問 (18:30~)

例会・ガバナー卓話